

夕暮れの北防波堤

青森港北防波堤からのベイブリッジの眺め

海のむこうに沈んでゆく太陽がとても神秘的に見える北防波堤。この瞬間わずか数分は晴すことも忘れ、風をのんびり見入ってしまう。沈みそうでもない太陽は斜一刻と違う表情を魅せ、海辺に建つアスパムやベイブリッジが、緑やオレンジ、時には紫色へと刻々と変化していきます。その景色はまるで絵画書を見ているかのように。

夜の青森に浸る

ライトアップされたベイブリッジ、その周辺の灯が海面に映りこみキラキラと輝き、昼間と違った幻想的で洒落たベイエリアが楽しめます。

青森県観光物産館 アスパム

青森の「A」をイメージした高さ76mの外観が特徴的。ねぶた祭や十和田湖、下北半島や世界自然遺産白神山地など臨場感あふれる360度（9面）全周映像によるパノラマ映画を上映。展望レストランや郷土河産物などもあり、お土産コーナーは定番からこだわり品まで品数豊富。津軽三味線の無料演奏会も連日開催。

●青森市東1-1-40 ●017-735-5311 ●JR青森駅から徒歩8分 ●観覧料小学生200円、中学生300円、大人400円（パノラマ映画小学生300円、中学生450円、大人600円（セット料金あり）） ●9:00～19:00（4～10月） ●10:00～18:00（11～3月） ●休館日によって営業時間変更があります。詳しくはお問い合わせください。

アスパム 検索



A-FACTORY エリアマップ②

青森ウォーターフロントエリアの各物産スポット。青森県産のじんごを用いたシールド・ジューズ等の加工・販売を行うほか、青森県産の様々な食材を用いた物販・飲食店舗もあります。

●青森市東川1-4-2 ●017-752-1890 ●9:00～21:00（店舗ごと、季節ごとで異なります） ●不特定



ねぶたの家 W-ラッセ エリアマップ①

ねぶた祭本番に出陣した大型ねぶたのまかせまでねぶたがテーマを展示紹介。本物のねぶたの型で職人体験や造りある奥深い豊富な資料で、ねぶたの魅力を残すことなく伝えます。海が目の前に広がる、青森の食材を使ったおしゃれなレストランや、ねぶたグッズや特産品を揃えたショップもあります。

●青森市東1-1-1 ●017-752-1311 ●5月～8月 9:00～19:00、9月～4月 9:00～18:00 ●8月31日、10月1日お盆入り ●12月31日、1月1日 ●小学生250円、高校生450円、大人600円（レストランランチなどは別） ●ワラッセ 検索

ベイエリア散歩

あomorい
☆青森県観光
ベイエリアを散策しながら青森の魅力を感じよう！
潮風に吹かれながら、青森港を一望できるベイエリアを散策、いにしへの海のロマンに触れられる。

赤い糸 モニュメント「ふたり」

青森市と函館市のツインシティ提携20周年を記念して制作したもので、日劇中学を青森市で過ごした太宰治（1909-1948）が小説『黒ひ出し』の中で、芳礼治と青森港橋から海峡を渡る運送船を眺めながら、運命の女性と結ばれる「赤い糸」について語り合った挿話を基に、函館と青森の市民の協力により、お互いの絆を深めるモニュメントとして、両港にそれぞれ向かい合うように設置したものです。

エリアマップ⑨



青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸

1958年に竣工された青函一泊船を結ぶ青函連絡船。その青函航路の船便となった八甲田丸をそのまま再現した日本初の鉄道連絡船ミュージアム。約80年にわたって津軽海峡を行き交った連絡船の歴史や船の構造などを併設したスケールで展示。当時のままの本物のエンジンルームやブリックなども見られます。

エリアマップ⑧



青函ワールド

青函ワールドとは、昭和30年代の「駅前朝市」、「青森駅舎」、「青函連絡船乗り場」の様子を、精巧な等身大の人形や遊具などで再現した八甲田丸内のテーマパークです。当時の風景を忠実に再現しており、「りんご長屋」、「茅草屋」、「たまごの産産商」など、現在では見ることができない懐かしい風景を再現しており、3階の有料コーナーを中心に、船内全体に展示しています。

エリアマップ⑦



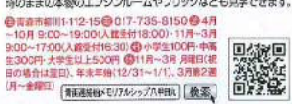
津軽海峡冬景色歌碑群

八甲田丸船首には、センサーで反応し、メモリーが読まれる「津軽海峡冬景色歌碑群」があり、郷愁を誘います。

青い海公園

かつて漁港としてにぎわった場所です。芝生広場、展望台などがあり、春から夏にかけては「ねぶた」の制作小屋が立ち並び「ねぶたラッセランド」が賑わってきます。海の中の、ウッドデッキで陸奥湾を眺めながらの散策はぜひおすすめです。

エリアマップ⑩



エリアマップ⑥

八甲田丸スクリーモニュメント

1,800馬力のディーゼルエンジン8基を横に並べた総出力12,800馬力という大きなエネルギーを必要とした八甲田丸。実行された連絡船の中では最も長い23年7ヶ月の間、開設された。かつては水面上にあった巨大なスクリーに触れることができます。



エリアマップ④

青森市歴史サークル

「子どもたちに青森市の歴史を伝えてほしい」と市民からの寄付により制作したもので、2倍年以上前の青森大地産家から2010年東北新幹線新青森駅開業まで、青森市が発展してきた歴史の歩みをイラストと文字で表現して銅板に刻み込んだサークル状のモニュメントです。



エリアマップ③

街中の温泉・銭湯

青森市内には温泉・銭湯が数多く、湯気の種類も豊富。昔は銭湯と言えば広い湯船、富士山の絵をイメージする人も多いでしょうが、今ではサウナ付きや打たせ湯が多いイメージも変わってきてきました。昔ながらの湯温もあり懐かしさを感じる所もあります。青森駅前から徒歩で行ける温泉も取り、近くまで出かけずに近場で天然温泉に入ることができます。



エリアマップ⑧

パサージュ広場

「パサージュとはフランス語で小径（こみち）を意味し、青森市中心街の散策の休息と食事スポットにおすすめです。シンボルツリーを囲むように並ぶショップをのんびりするのも楽しい。パサージュ広場内では、将来的に中心市街地でショップ経営などを目指す方が出店、フリーマーケットやビアガーデンなども開催されます。



観光客や市民の皆さんに「まち歩き」を楽しんでいただくためのまちが観光スポット等をめぐる散策コースをご用意しています。事前にお申し込みいただく「あomorい街てくガイド」がご案内いたします。

A 風景コース 2km [約2時間]
青函連絡船と津軽海峡四季景色を訪ねて ～潮の音に誘われ津軽町を～
青森は港町として発展してきました。那珂川を歩き街並みを歩みながら、アウラや観光物産館アスパム、八甲田丸などを巡り、手紙に観光とお土産の購入ができる、青森に来た「まほろば」の感動の風景をぜひとどめておきましょう。

B 歴史と文化コース 2.5km [約2時間15分]
棟方志功と青森発祥の地を巡る ～青森神社と旧寺町四ヶ寺～
世界で有名な棟方志功が青森市名寄町の棟方志功邸や、小笠原・太宰治などのゆかりの地のほか、かつて青森を守りつづけてくれた徳川将軍など、青森の歴史に密着した建物の歴史や文化をぜひとどめておきましょう。

C 味とショッピングコース 1.3km [約1時間30分]
観て！ 味で！！ 探検!!!
～古川市場と中心商店街の一店先～
新鮮な食品を扱うたくさんのお店のあふれる古川市場、青森市の中心商店街の歴史が残り「通り」、開放感いっぱいでのんびり「アスパム」、地元らしい「湯田丸」をまわると耳や舌で味わえるコースです。

【青森市観光交流情報センター】 ●017-733-4670 古川市場

青森市観光交流情報センター
青森市の観光や交流に関する情報提供や宿泊料（当日宿泊のみ）を行う施設です。青森市内の観光施設（津・八甲田丸）に買い物や観光に関するサービス（有料）も行ってあります。

●青森市東1丁目1-25 ●017-733-4670 ●9:30～19:00（年中無休）

エリアマップ⑥

青森市観光交流情報センター

青森市観光交流情報センター
ベイエリア 3 階（ワラッセ、八甲田丸、アスパム）共通券でお得に楽しもう。大人1,300円、高校生900円、中学生700円、小学生500円。
上記3階と青森駅、新青森駅の観光案内所などで販売



エリアマップ